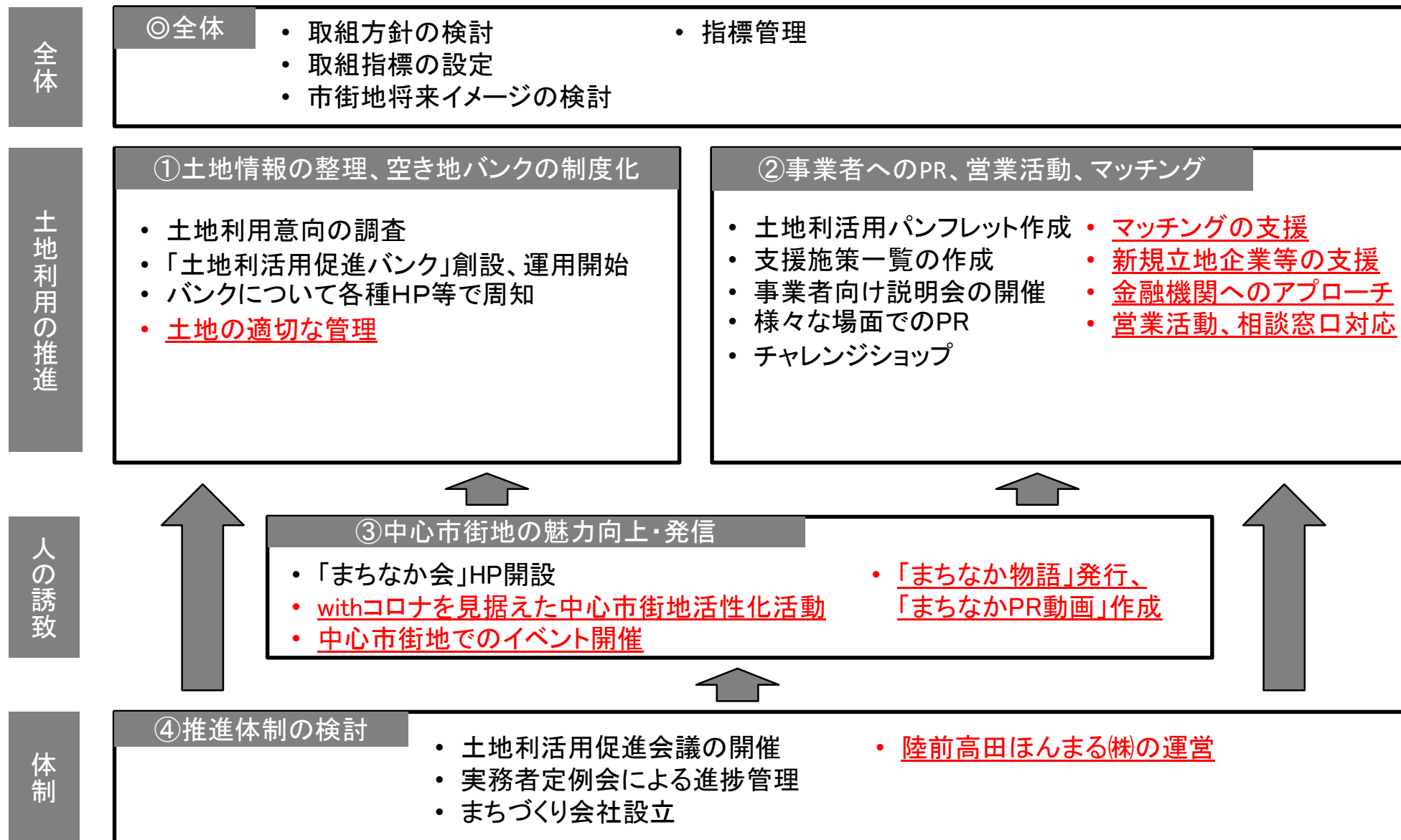


【資料3】これまでの取組状況について

【 これまでの取組一覧 】



土地の適切な管理(継続)

広報等での定期的な呼びかけ

草刈り作業をふるさと納税返礼品として制度化

●土地の適切な管理について広報等で呼びかけ

●草刈り作業をふるさと納税返礼品として制度化(2020.11) →未利用地の良好な環境維持のため今後の活用を期待。

ニュース④ 土地区画整理事業地区内の土地の管理について (お願い) 《適切な管理をお願いします》

土地区画整理事業によりお引渡しした土地について、適正な管理をお願いします。

◇適正に管理しないと近隣住民に迷惑をかけるおそれがあります。

- ・雑草が繁茂し、害虫の発生や廃棄物の不法投棄場所になる可能性があります。
- ・火災発生の原因につながります。
- ・道路の見通しが悪くなり、交通事故の原因になります。



問い合わせ先 復興局市街地整備課区画整理係 (内線443・452)

【草刈りサービス / 100㎡まで】陸前高田市シルバー人材センター



寄付金額
35,000円
もしくは35,000ポイントで
もらえる

感想0件

お気に入り

数量: 1 在庫: あり

ファスト寄付で申し込む

寄付へ進む

> ファスト寄付とは?

> 対応している決済方法

> お問い合わせ先

> 年末年始の配送

> ワンストップ特例申請書の郵送



これまでの取組状況について > ②事業者へのPR、営業活動、マッチング

マッチングの支援(継続)

事業者と地権者のマッチングを支援(バンク創設以前も含む)。

これまで達成した累計は、高田23件、今泉3件の計26件、約18,000㎡(前回+4件、5000㎡)

	用途	取引形態	面積㎡	備考
高田地区	1事業用地	売買	1,000	
	2事業用地	賃貸	1,230	
	3店舗	売買	525	
	4集合住宅	売買	950	
	5集合住宅	売買	878	
	6店舗	売買	371	
	7住宅	売買	240	
	8住宅	売買	84	
	9事業用地	売買	354	
	10事業用地	賃貸	452	
	11住宅	売買	214	
	12住宅	売買	301	
	13事業用地	賃貸	1,039	
	14事業用地	賃貸	298	
	15事業用地	賃貸	984	
	16住宅	賃貸	491	
	17事業用地	賃貸	433	
	18事業用地	賃貸	426	
	19事業用地	賃貸	425	
	20店舗	賃貸	4,661	新規
	21事業用地	売買	148	新規
	22事業用地	賃貸	851	新規
	23事業用地	賃貸	437	新規
計			16,792	

	用途	取引形態	面積㎡	備考
今泉地区	1事業用地	売買	371	
	2事業用地	賃貸	676	
	3住宅	売買	300	
	計		1,347	

		面積㎡	備考
全体	26	18,139	6,097

6,097

新規立地企業等の支援(継続)

相談を受けている新規立地企業等について個別に協議中。

【区画整理区域内】

- 発酵パークCAMOCY(カモシー) →令和2年12月17日(本日)オープン
(参考資料5)
- ピーカンナッツ工場・店舗 →令和2年7月 事業者決定
令和2年9月～ 建築設計
令和3年度建設工事、令和4年度開業予定
- レッドカーペットプロジェクト →令和2年11月 植樹祭実施。今後拡大予定。
(参考資料6)
- 低地部農業・工場・店舗 →令和4年 フルーツパーク開業予定
ピーカンナッツ農園事業者の法人化検討中
- ホテル(ドリーミン)建設 →令和2年度建築設計、令和3年度建設工事、
令和4年度開業予定
- 自動車部品・ドローン製造工場 →令和4年度 整備予定



【区画整理区域外】

- ワタミオーガニックランド →令和2年10月 事業者決定
(モデルエリア) 令和3年3月 一部オープン予定
- 健康食品原料製造((有)バイオケム) →令和3年度 開業予定



金融機関へのアプローチ(継続)

金融機関に、市長、商工会長等で訪問し、中心市街地での出店等について協議。

(令和元年度)

まちの形成に重要となる金融機関に、市長、商工会長等で訪問。中心市街地での出店や、土地利用の協力について要請を実施。

(令和2年度)

令和2年10月12日 JAおおふなと高田支店オープン

令和2年12月21日 気仙沼信用金庫オープン予定

(今後の予定)

1件 整備に向けた手続き中

→引き続き金融機関と連携し、中心市街地への立地関心事業所等の情報を収集。

営業活動、相談窓口対応(継続)

土地バンク登録地の企業誘致活動の推進に向け、営業活動と相談窓口を継続実施。

●R元年度の取組

- ・業務委託(ほんまる(株)、URリンケージ)による首都圏、地方拠点事業者等への営業
- ・期間 : R1.11～R2.3
- ・取組状況 : 計86件(直接営業60:間接営業26 / 首都圏62:地方24)
→うち、マッチング・事業化 1件、継続協議 9件

●R2年度の取組

- ・市、ほんまる(株)による東北圏、県内、友好都市(名古屋)等への営業
- ・期間 : R2.4～R2.11(※コロナによる中断あり)
- ・取組状況 : 計41件(直接営業33:間接営業8)
→うち、マッチング・事業化 2件、継続協議 11件
(名古屋市との連携→参考資料7)

<営業時の意見・感想>

- ・ 金額の相場が知りたい。
- ・ マーケット的には厳しいので行政からの支援があると社内で説明しやすい。
- ・ 今後も新たな動きがいくつも見えているのは魅力的。
- ・ 前提として用途地域の変更が必要。 等

withコロナを見据えた中心市街地活性化活動

緊急事態宣言下は、新たにテイクアウト紹介HPの作成、弁当デリバリー等による支援を実施。
緊急事態宣言後は、感染対策を徹底した上で「ほんまるまるしえ」を定期開催。

【お弁当デリバリー支援活動実績】

- 期間: 2020/5中旬～2020/6中旬
- 注文受付件数: 約150件
- 総受付商品数: 約500個

【マルシェ実績】

- 感染対策を徹底した運営を行い、本イベント関連の感染者は出ていない。
- データは下図の通り。(※売上額は委託販売商品のみの合計額)



マルシェ 屋外出店者の様子

マルシェ 委託販売の様子

6月				7月				8月			
期間	気温(℃)	来場者数(人)	売上(円)	期間	気温(℃)	来場者数(人)	売上(円)	期間	気温(℃)	来場者数(人)	売上(円)
6/13~21	23.1	2004	¥225,400	7/20~26	24.2	1444	¥144,240	8/24~30	30.4	824	¥82,710
9月				10月				11月			
スキップ (冬の感染拡大を見越した対策準備期間)				期間	気温(℃)	来場者数(人)	売上(円)	期間	気温(℃)	来場者数(人)	売上(円)
				10/16~18	15.0	1124	¥110,640	11/20~23	16.8	1192	¥180,664

中心市街地でのイベント開催(継続)

コロナ対策に留意しつつ、各種イベントが開催。適宜、土地利活用のPRも実施。

- ふくふく市
第2、第4金曜日定期開催
- ちいさなコーヒーフェス
R2.10.31(土)三陸花火大会とあわせてまちなかで開催。
- 三陸ぐるっと食堂
R2.11.14-15(土)三陸のおいしい食べものをぐるっと楽しめるイベント 等



「まちなか物語」発行

嵩上げ地への商店街再建の歴史を残すべく、震災前後の重ね合わせ図や各事業所へのインタビュー記事をまとめた冊子を作成。→[参考資料8](#)

「まちなかPR動画」作成

中心市街地のPRとシティプロモーションのため、中心市街地事業所の紹介動画と、市街地の復興の軌跡をまとめた動画を作成。(URと共同制作) →[参考資料9](#)

中心市街地に整備するデジタルサイネージおよび道の駅に掲載し、中心市街地での消費活動の活性化を図る。

【まちなか物語構成】

- 46ページの冊子
- 2020年度中に2巻発行する。
- 全3巻まで発行することが決まっている。
- ほんまるの家にて販売中(250円)

【まちなかPR動画構成】

- 約2分30秒の動画。
- 中心市街地の16事業者を紹介。
- 飲食店および物販店においては、観光客が求める情報を掲載。
- 整体院および美容室店においては、地元の方向けの情報を掲載。
- 中心市街地のお店の情報をまとめた「高田まちなかHP」のPR情報を掲載。



まちなかPR動画



陸前高田ほんまる(株)の運営(継続)

2019年6月に設立。現在、下記の取組みを主に実施。

今後も中心市街地の魅力向上、土地利活用促進に向けた取組を展開していく。

●取組み実績

1. 土地利活用等促進業務
 - 土地建物に関する情報発信、PR活動
 - 土地に関する相談対応
2. 中心市街地PR活動
 - まちなか事業者のPR動画作成
 - まちなかガイドの発行
 - 陸前高田市観光物産協会と連携した市内有名建築への誘客事業検討
 - まちなかHP更新・運営
 - まちなかMAPの改定版発行
3. 施設管理運営業務
 - コミュニティ再生、活性化のための活動
 - withコロナの賑わい創出のための活動
 - チャレンジショップ運営サポート(看板製作、入居者連携体制の構築)
4. コロナ対応事業
 - お弁当デリバリー活動
 - 市内全域のテイクアウト情報発信サイト作成

●今後の取組予定等(令和3年度)

1. タウン誌発行による嵩上げ地の魅力発信事業
2. 土地に関する相談対応
3. 土地価格の見える化に係る検討
4. 中心市街地へのデジタルサイネージ整備とそれを活用した広報活動。
5. 「街歩きQRコード看板」による観光客呼び込み
6. イベント開催やHPでの中心市街地PR、まちなか物語発行(継続)